



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

政策

【種別】 状
 【資料名】 請取申米金之事
 【巻次】
 【副題】
 【記録年】
 【刊行年】 明治2年
 【編著者】
 【出版社】
 【寸法】 縦28.5cm 横60cm 1枚



【略説明】

当時の小倉(おぐら)村(後の小塩江村、現 須賀川市)の大庄屋1名、庄屋2名、組頭4名の連名による領収証。戊辰戦争(慶応4年/1868年～明治2年/1869年)で新政府軍に徴用された戦死者の遺族へ墓守料として、当時の奉行所から施与された米及び金銭に係るものである。

【注記】

奥州街道の宿場町として栄えていた須賀川市(当時は須賀川宿)は戊辰戦争のターニングポイントとなった白川城攻防戦の舞台でもあった。須賀川宿は県内各所へ通じる街道が分岐する交通の要所であったため、列藩同盟の作戦会議が度々行われるなど同盟軍の拠点でもあった。慶応4年7月29日、進軍してくる新政府軍に利用されないよう、仙台藩士らによって焦土作戦が行われた。戦火により町の三分の一が焼失し、両軍に動員された農民なども犠牲となった。

史料の所蔵元である須賀川市博物館は、蒐集家であった首藤保之助氏のコレクションを基に開館された施設。須賀川市の歴史や文化に関する史料・資料の収集・調査・常設展示を行なっているほか、年4回の企画展を開催している。また、児童生徒向けの各種体験学習や史跡巡り講座なども行っている。

【所蔵機関】 須賀川市立博物館
 【住所】 福島県須賀川市池上町6
 【連絡先電話番号】 0248-75-3239
 【所蔵先URL】 <http://www.city.sukagawa.fukushima.jp/1577.htm>
 【閲覧】 要申請
 開館時間：9時～17時
 休館日：原則として月曜日、国民の祝日の翌日(土日は除く)、
 年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日あり。
 入館料：(普通観覧料)大人 200円、大学生・高校生 100円、
 中学生以下・65歳以上・障がい者で手帳をお持ちの方は無料。